

パラシュートコードで作るブレスレット

XRQ TechLab 2012.4



パラシュートコードは250kgという引っ張り強度を持ち、ナイロンで作られているため熱には弱いものの、水に濡れても大丈夫で軽く、しなやかで扱いやすいロープです。

アウトドアではものを固定したり、つるしたり、引っ張ったりとさまざまな用途があります。非常用にも身近に置いておきたいものです。

身近に置くとき、身につけてしまうのが一番でしょう。ブレスレットというおしゃれな形にすれば使いやすいと思います。市販されているものもありますが、わりあい簡単に編むことができましたので紹介します。

◆ 必要なもの

パラシュートコード 2.5m程

バックル

ライター、ニッパー、ものさし

手首の太さに応じて作りますが、編み込みの厚さがありますので約1割増しくらいの長さになるようにします。

バックルは100円ショップのペット用首輪から取り出すこともできます。

ライターはコードの末端処理に使用します。



◆ 作り方

①バックルの取り付け

コードを半分に折り、折り返した方にバックルを両方とも通します。

このとき、ブレスレットになったときバックルが互いにかみ合う向きになるよう配置します。





コードを折り返した側の金具をコードをくぐらせて固定します。

もう一方のコードをバックルの金具のところで折り返します。このとき、左右の金具を含めた間隔がブレスレットの長さになりますので、必要な長さに調整をして折り返します。(右の写真は説明のため、たいへん間隔が小さくなっています。)

左右の金具の間のコードはブレスレットの芯になり、この周りに編み込んでいきます。



② 編み始め



バックルの部分からの編み始めです。バックルを通ってきたコードを、一方は芯になる2本のコードの下側を通り、他の一方は上側を通り、それぞれ他方の輪の中を抜けるようにします。

この写真では左側は下から輪を通して上に抜け、右側では上を通して輪を下側に抜けています。

ここで、左右にしっかり締め、金具を固定します。その時、金具の間が予定しているブレスレットの長さになっているかもう一度確認してください。この段階で再調整ができます。

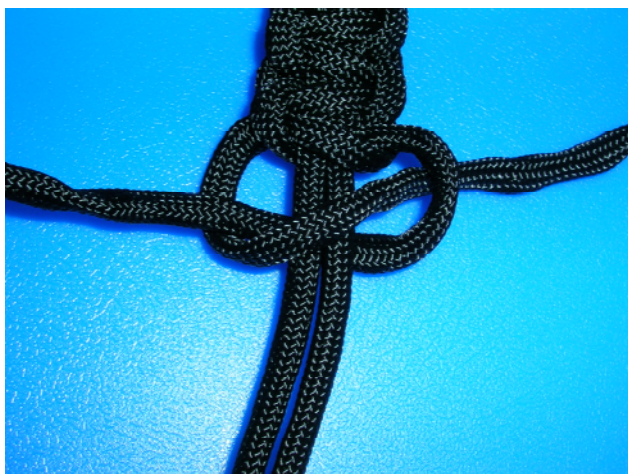
③ 編み込み



編み始めと同じことの繰り返しです。

輪を通して下側に向かっているコード（この写真では右側）を芯の上に持ってきます。

輪を通して上に上がってきたコード（この写真では左側）は右から来たコードの上を通して芯の下を通り右の輪の中を通して上に出てきます。



逆のバージョンです。

右側は輪を通して上に上がってきたコードで、左側は輪を通して下に向かっています。ですから右側が芯の下を通り左の輪から上に出てきています。

このように「下に向かっている方を上に持ってくる」ということを、左右交互に繰り返します。

④ 編み終わり



芯になっているコードが見えなくなるまで編み込んだら、終了です。

編み込むとき一回ごとにしっかり締め付け、芯を引きながら編み込みを密にすることで緩まないようになっていると思います。

余ったコードを写真のように切り取り、末端をライターの炎で炙って処理をします。念のため接着剤で処理をしておくのもよいかもしれません。